

2 カメラ ドライブレコーダー

取扱説明書

Ver1.00

MDR-ACAM



ご使用の前に

※ microSDカード内の専用ビューアーと取扱説明書をパソコンなどに保存してからご使用ください。

注意: microSDカードを本体でフォーマットすると専用ビューアーソフトと取扱説明書が消去されてしまいます。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

目 次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
microSD カードご使用に関する注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
ドライブレコーダーを使う	13
液晶画面の表示について [録画モード]	14
液晶画面の表示について [再生モード]	15
設定メニュー操作方法	16
設定メニューの一覧	17
フォーマット / 初期化	18
録画の種類	19
microSD カード内ファイル構成	20
車線逸脱警報 / 前方衝突警報	21
録画時間の目安	22
製品仕様	23

【付属】 MDR-ACAM ビューアー説明書

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



付属のシガージャックケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。



本製品は12V車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中に microSD カードを取り出すと記録データと microSD カードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

●内蔵電池の取り扱いについて



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品は充電電池を内蔵しています。

充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。

次の禁止事項を必ずお守りください。



本製品は充電電池を内蔵しています。お客様ご自身では交換できません。お客様による交換は危険ですから絶対におやめください。



火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。



強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。



充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

●本商品をご使用されなくなった場合の処分方法について



本商品に内蔵されている充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

microSD カードご使用に關しての注意事項

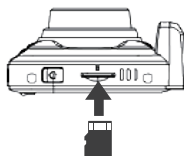
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを (電源を) オフ にして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に關しての注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

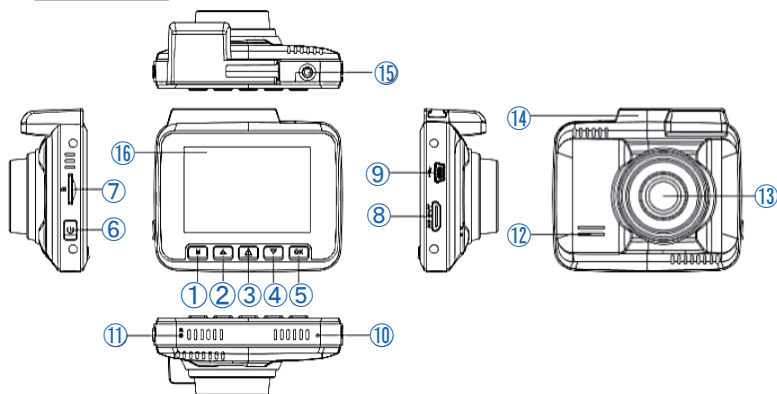
- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。(18 ページ参照)
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード (推奨品) への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき

本体カメラ



①[M]メニューボタン	メニュー(ビデオ/セットアップ)を表示/非表示
②[▲]上ボタン	カーソルを上に移動
③[△]手動録画ボタン	録画中のファイルを別フォルダ(RO)に保存
④[▼]下ボタン	カーソルを下に移動
⑤[OK]OKボタン	録画停止/再開、各設定を決定する
⑥[Power]電源ボタン	[長押し] 電源オン/オフ [短押し] 液晶画面消灯/点灯
⑦microSDカードスロット	microSDカード挿入口
⑧HDMI端子	外部機器との接続
⑨[USB]電源端子	電源ケーブルを接続
⑩マイク	音声録音用のマイク穴
⑪リセットボタン	先の細い棒等で押すとシステム再起動
⑫スピーカー	音声を出力
⑬カメラ	本体のカメラレンズ部
⑭ブラケットホルダー	ブラケットを装着
⑮[AV-IN]リアカメラ接続端子	リアカメラを接続
⑯液晶画面	録画映像や設定を表示

内容物の確認

セット内容

●本体カメラ



●取付ブラケット



●シガーソケット
電源ケーブル



●リアカメラ + 接続ケーブル



●microSD カード (16GB)
& カードアダプター



●かんたんマニュアル ●保証書



●USB
ケーブル

本体をパソコン
に接続するとき
に使用します。

専用ビューアソフトと取扱
説明書が保存されています。

※ microSDカード内の
専用ビューアと取
扱説明書をパソコン
などに保存してから
ご使用ください。

ご使用前に 専用ビューアソフトと取扱説明書はmicroSDカード内に保存されています。

注意: microSDカードをフォーマットすると取扱説明書が消去されてしまいます。

取り付け上の注意事項

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属のmicroSDカードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。

ドライブレコーダーを取り付ける

- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。
※道路運送車両の保安基準 第 29 条 (窓ガラス)、細目告示第 39 条、第 117 条および第 195 条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

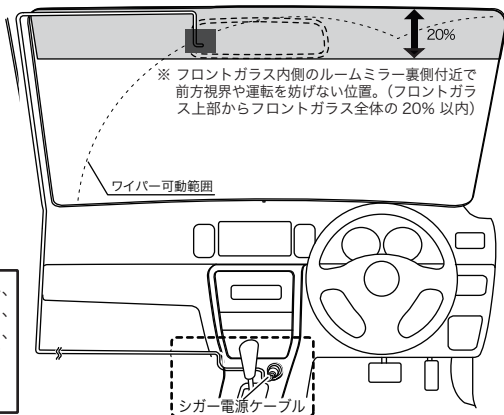
本体カメラ設置



自動車の機能 (エアバッグ等) の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。事故や怪我の原因となります。

電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

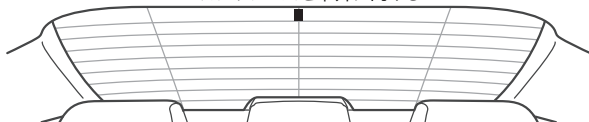
ブラケットをはめ込み、両面テープで貼り付け、レンズの角度を調整し、電源、リアカメラのケーブルを配線し micro SD カードを挿入する。



※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。

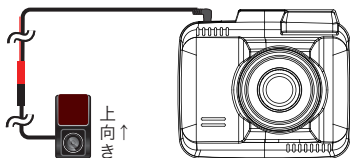
リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にカメラを後方に向けて設置してください。
カメラレンズを車外に向ける



リアカメラを本体カメラと接続してください。

- 本体カメラのリアカメラ接続端子 (AV-INI) にケーブルを差し込む



※脱脂クリーナーなどでリヤガラスを清掃し、よく乾かした後に貼付けてください。

取り付け後、カメラのレンズ部分を上下して、角度を調整してください。

ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

【仮留め・テスト録画】

しっかり貼り付ける前に、いったん仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。



【取り付け方法】ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。



取付ブラケットをスライドして挿入する



ブラケットを回して角度を調整し両面テープのハクリ紙をはがして貼りつける



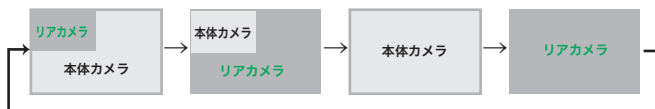
レンズの角度を調整し、電源、リアカメラのケーブルを配線し microSD カードを挿入する

【録画 LED ランプ表示】 【画面表示切替】 【録音オン/オフ】

LED ランプ：赤ランプ点滅：録画中、赤ランプ点灯：録画停止、消灯：電源オフ、緑：充電中



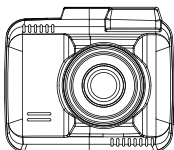
リアカメラ接続時▼ボタンを押すたびに下記のように画面表示が切り替わります。



ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



❗ microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源がオンになります)



エンジンをかけた状態で電源ボタンを 2 秒以上長押しすると電源が切れます。再び、電源ボタンを 2 秒以上長押しすると、電源が入ります。電源をオフにすると録画できません。

常時録画



microSD カードの Novatek フォルダ内の Movie フォルダ内に常時録画ファイルが保存されます。

衝撃/手動録画



microSD カードの Novatek フォルダ内の Movie フォルダ内の RO フォルダにファイルが保存されます。

3) 常時録画を開始

①常時録画

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と撮影を開始します。録画中は、液晶画面の上に●が点滅します。OK ボタンを押すと録画を停止します。再び OK ボタンをおすと録画を再開します。

②衝撃検知による録画 (衝撃録画)

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、Movie フォルダの中に RO フォルダが作成されファイルを保存します。すべてのファイルは通し番号で名前が管理されます。(20 ページ参照)

③手動録画

録画中、手動録画ボタン  を押すと、RO フォルダに保存されます。

④録画停止

録画中 OK ボタンを押すと録画停止になります。再び OK ボタンを押すと録画再開します。車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源オン時に電源ボタンでオフにしても録画を停止します。再び電源ボタンでオンにすると電源が入って録画を再開します。



4) 駐車録画

車両のエンジン停止時、衝撃を感知すると電源が入り録画を開始します。約 60 秒間、録画ファイルが衝撃録画として RO フォルダに保存されます。

液晶画面の表示について [録画モード]

- 5) 液晶画面** ライブ映像画面：本体起動後、録画を開始します。
①の表示が録画モードになり、録画中②が赤点滅します。



録画モード中(1カメラ時)

- △ ボタンでズームイン
- ▽ ボタンでズームアウト

※2カメラ接続時は機能しません。

- ① 録画モード表示 ([M]メニューボタン長押しで再生モードに変更)
- ② 録画中は赤丸が点滅(録画停止時は非表示) [OK]ボタンを押すと録画停止再び押すと録画再開
- ③ WDRオン表示(オフは非表示)
- ④ GPS受信表示 (: 未受信 / : 受信)
- ⑤ 録画中ファイルの録画時間
- ⑥ 録画解像度表示

2880×2160 P 24 / 1920×1080 P 60
1920×1080 P 30 / 1280×720 P 120
1280×720 P 60 / 1280×720 P 30
FHD P30+VGA P30※

※2カメラ時は自動で
FHD P30+VGA P30
が選択されます。

- ⑦ 駐車モード (オン / オフ)
- ⑧ 録音 (オン / オフ)
- ⑨ microSDカードの状態 (挿入 / 未挿入)
- ⑩ バッテリーの状態を表示 (バッテリー残量 / 充電中)
- ⑪ 時計 ⑫ 日付
- ⑬ 録画中ファイル保護状態 (保護ファイルのみ表示)
- ⑭ Gセンサー (オフ / 高 / 中 / 低)
- ⑮ モーション検知 (オフ / オン)
- ⑯ 1つのファイルの録画時間 (3分 / 5分 / 10分)

⑥⑦⑧⑪⑫⑬⑭⑯は録画中[OK]ボタンで録画を停止後、[M]メニューボタンの録画設定で設定を変更できます。設定一覧参照 (17ページ)

液晶画面の表示について [再生モード]

【再生モード】録画中 [OK] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、[M] メニューボタンを長押しして再生モードに切り替えます。



- | | |
|------------------------------------|---------------|
| ① 再生モード表示 ([M]メニューボタン長押しで録画モードに変更) | |
| ② 保護されている録画ファイルに表示 | |
| ③ 録画ファイル名 | ④ 録画解像度表示 |
| ⑤ microSDカードの状態 | ⑥ 撮影した日付 |
| ⑦ 撮影した時間 | ⑧ バッテリーの状態を表示 |
| ⑨ 再生状態の表示 | |

【再生モードの操作方法】

[△] または [▽] ボタンで再生したいファイルを選択します。[OK] ボタンで選択したファイルを再生します。再び [OK] ボタンを押すと一時停止します。

再生中 [△] ボタンを押すと録画映像を早戻し再生します。

早戻しの速度は[△]ボタン1回押すごとに、2倍速 (-X2) /4倍速 (-X4) /8倍速 (-X8)

再生中 [▽] ボタンを押すと録画映像を早送り再生します。

早送りの速度は[▽]ボタン1回押すごとに、2倍速 (X2) /4倍速 (X4) /8倍速 (X8)

【再び録画するときは】

[M]メニューボタンを長押しして録画モードに戻り、[OK]ボタンを押して録画を再開します。

設定メニュー操作方法

【録画モード中の設定画面】

録画中 [OK] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、[M] メニューボタンを 1 回押すと録画設定、2 回押すとシステム設定に切り替わります。

[M] メニューボタンを
1 回押すと録画設定

[M] メニューボタンを
2 回押すとシステム設定



【設定画面の操作方法】

[△] または [▽] ボタンで項目を選択します。[OK] ボタンで選択を決定します。

[△] または [▽] ボタンで設定を変更し [OK] ボタンで決定します。

設定終了後、[M] メニューボタンを押すと録画面に戻ります。

録画を再開するときは [OK] ボタンを押してください。

【再生モード中の設定画面】

録画中 [OK] ボタンを押すと録画を停止します。[M] メニューボタン長押しで再生モードに切り替えます。(15ページ) 再生モード中、[M] メニューボタンを 1 回押すと、再生モードの映像の消去・保護・スライドショーなどの操作ができます。再生モード中、[M] メニューボタンを 2 回押すと、録画モードと同様のシステム設定画面になります。



設定画面の設定項目一覧は次ページ参照

設定メニューの一覧

【各設定メニュー】

録画設定 [ビデオ] 

システム設定 [セットアップ] 

再生モードファイル設定：再生モード中の設定画面 

設定画面	設定項目	詳細	初期値
録画設定 [ビデオ] 	解像度	2880×2160 P24 / 1920×1080 P60 1920×1080 P30 / 1280×720 P120 1280×720 P60 / 1280×720 P30 FHD P30 + VGA P30	1920×1080 P60 2カメラ時は自動で FHD P30 + VGAP30
	常時録画	3分/5分/10分	3分
	WDR	オフ/オン	オフ
	駐車モード	オフ/オン	オフ
	録音	オフ/オン	オン
	日付表示	オフ/オン(録画映像に日付表示)	オン
	GPS表示	オフ/オン(録画映像に速度、緯度経度表示)	オン
	Gセンサー	オフ/高/中/低	中
	車線逸脱警報 (※)	オフ/オン	オフ
	前方衝突警報 (※)	オフ/オン	オフ
※どちらか一方を[オフ]にしても両方作動します。両方[オフ]または[オン]にしかできません。			
システム設定 [セットアップ] 	日/時刻	手動設定画面	GPSで自動
	バックライト (液晶消灯設定)	オフ/1分/3分/5分 (オフは消灯しない、*分後画面消灯)	3分
	ピープ音	オフ/オン	オン
	フォーマット	キャンセル/確認	
	初期化	キャンセル/確認	
	バージョン情報	ファームウェアバージョン	
 再生モード ファイル設定	消去	現ファイル消去/全体消去	
	保護	現状ロック/現状ロック解除/全体ロック/全体ロック解除	
	スライドショー	2秒/5秒/8秒	

※車線逸脱警報/前方衝突警報を [オン]にした場合、解像度を1カメラ時は[1920×1080 P30]以外を選択すると機能しません。

※ADAS機能は、車線逸脱と前方衝突のどちらか一方を[オフ]にしてもどちらかが[オン]になっている限りすべてのADAS機能が作動します。機能をオフにする場合は車線逸脱/前方衝突の両方[オフ]にしてください。すべて[オフ]または[オン]にしかできません。

フォーマット / 初期化

フォーマット micro SDカードをフォーマットします。

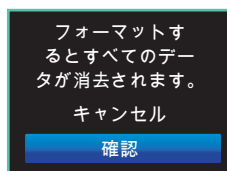
録画中 [OK] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、[M] メニューボタンを 2 回押してシステム設定に切り替えます。

[M] メニューボタンを
2 回押すとシステム設定



[▽] ボタンで「フォーマット」を選択し、
[OK] ボタンで選択を決定します。



[△] または [▽] ボタンで確認を選択して [OK] ボタンで決定するとフォーマットを開始します。



注意

フォーマットすると microSD カードの記録ファイルは、全て消去されます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

※ 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。

※ microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カードへの交換をお勧めします。

長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。

※ microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。

初期化

システムの初期化を選択して設定を工場出荷状態の初期値に戻します。

録画中 [OK] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、[M] メニューボタンを 2 回押してシステム設定に切り替えます。

[▽] ボタンで「初期化」を選択し、[OK] ボタンで選択を決定します。

[△] または [▽] ボタンで確認を選択して [OK] ボタンで決定すると初期化されます。

録画の種類

電源オンで常時録画＋衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

録画ファイル ※録画の1ファイルの時間は約3分、5分、10分から選択可能



衝撃(手動)録画

衝撃時（Gセンサーが衝撃を検知したとき）や手動録画ボタンを押したときは、名前を変えて保護ファイルとして保存します。

※各ファイルの名前のルールや保存先ファイルなどについては次ページ参照

【注意事項】

- ・録画中は microSD カードを取り外さないでください。
- ・microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。保護ファイルの領域もいっぱいになるとその領域内で古い保護ファイルが新しい保護ファイルに上書きされます。定期的に必要なファイルは保存してください。

電源オフで常時録画＋衝撃録画を終了します。

駐車モード 衝撃時のみ電源オン

車両のエンジン停止後、（Gセンサー）で衝撃を検知したときに電源がオンとなり録画を開始します。1ファイル約60秒の映像ファイル

※内蔵電池の充電状況が万全でない状態では、駐車録画ができないことがあります。

【注意事項】

- ・録画中は microSD カードを取り外さないでください。
- ・microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。保護されているファイル、衝撃（手動）録画ファイルは上書きされません。定期的に必要なファイルは保存してください。

設定でモーション検知をオンにした場合（17 ページ参照）

※モーション録画をするときは OK ボタンを押して常時録画を停止してください。
※おもに停車中などの使用をお勧めします。

- ・電源オン時に OK ボタンを押して常時録画を停止後、動体検知（モーションセンサーが動体を検知）したときだけ、録画します。常時録画はできません。
- ・OK ボタンで録画モードを停止し、再び OK ボタンを再び押すと常時録画を再開します。



microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルが保存されます。



※R0フォルダの中のファイルは衝撃ファイル
駐車録画ファイルも衝撃ファイルとしてR0フォルダに保存されます。

(例1) 2018_0726_115726_159B.MP4

2018年7月26日11時57分26秒にサブカメラで159番目に常時録画したファイル

(例2) 2018_0725_175549_002A.MP4

2018年7月25日17時55分49秒に本体カメラで2番目に衝撃録画したファイル

車線逸脱警報 / 前方衝突警報

設定メニュー(17ページ)の録画設定で[車線逸脱警報]と[前方衝突警報]のどちらかをオンにした場合、走行中に右図のような画面になり、前車との距離/時速が表示されます。



※ADAS機能は、車線逸脱と前方衝突のどちらか一方を[オフ]にしてもどちらかが[オン]になっている限りすべてのADAS機能が作動します。機能をオフにする場合は車線逸脱/前方衝突の両方[オフ]にしてください。すべて[オフ]または[オン]にしかできません。

車線逸脱警報 [オン]

右車線を逸脱した



左車線を逸脱した



前方衝突警報 [オン]

前車に接近している



前車にとっても接近している



以下の信号お知らせ機能もあります。(オン/オフ設定は車線逸脱と前方衝突に連動)

赤信号などの表示灯を認識時



赤色表示灯などが解除された時



録画時間の目安

microSDカードの録画時間の目安です。(16GB付属)

【2カメラで撮影時】

録画解像度(メイン:FHD/サブ:720×480) フレームレート(メイン:30fps/サブ:30fps)

microSD 容量	録画時間 (分)
16GB	103
32GB	205
64GB	409
128GB	826

【本体カメラのみで撮影時】

録画 解像度	フレーム レート	microSD 容量	録画時間 (分)
4K	24fps	16GB	80
		32GB	162
		64GB	324
		128GB	656
FHD	60fps	16GB	103
		32GB	206
		64GB	411
		128GB	830
FHD	30fps	16GB	139
		32GB	278
		64GB	555
		128GB	1122
HD	120fps	16GB	103
		32GB	206
		64GB	411
		128GB	830
HD	60fps	16GB	156
		32GB	310
		64GB	620
		128GB	1252
HD	30fps	16GB	306
		32GB	610
		64GB	1219
		128GB	2464

製品仕様

MDR-ACAM仕様

項目		MDR-ACAM	
		本体カメラ	リアカメラ
外形寸法		約 74 (W)×64(H)×32(D)mm	約 47 (W)×36(H)×32(D)mm
重量		約 86 g	約 32 g
カメラ	撮像素子	1/3型 CMOSセンサー	1/4型 CMOSセンサー
	画角	水平約100,垂直約62,対角130	水平約100,垂直約90,対角125
	F値	F1.8	F2.6
録画解像度／フレームレート		<1カメラ時> 2880×2160／24fps FHD(1920×1080)／60fps FHD(1920×1080)／30fps HD(1280×720)／120fps HD(1280×720)／60fps HD(1280×720)／30fps <2カメラ時> FHD(1920×1080)／30fps	D1(720×480)／30fps
液晶サイズ、解像度		2.4インチ液晶、240×320	
WDR		オン／オフ可能	
GPS		GPS内蔵（日時・速度・緯度経度）	
Gセンサー		3段階、オフ設定可	
ADAS機能 ※	車線逸脱警報	オン／オフ可能 ※	
	前方衝突警報	オン／オフ可能 ※	
	信号お知らせ機	あり（オフ設定は上記の車線逸脱と前方衝突を両方オフにする）	
記録方式		常時録画／衝撃録画／手動録画（保護）	
上書き録画		古いファイルから上書き保存	
録画ファイル時間	常時録画	3分／5分／10分	
	衝撃録画	3分／5分／10分	
	手動録画	3分／5分／10分	
駐車監視モード	駐車監視設定	オン／オフ可能（内蔵バッテリー、最大5分）	
	録画方式	衝撃録画	
内蔵バッテリー		リチウムポリマー電池	
音声録音		オン／オフ 可能	
音声出力（ピープ音）		オン／オフ 可能	
映像ファイル形式		MP4、H264	
記録映像再生方法		本体液晶	
		専用ビューアソフト※Windows 7/8.1/10	
記録媒体		microSDカード 4～128GB対応 class10 （付属：microSDHCカード 16GB、class10）	
電源電圧		DC5V	
動作温度範囲		-20～60℃	
保存温度範囲		-20～70℃	

※ADAS機能は、車線逸脱と前方衝突のどちらか一方を[オフ]にしてもどちらかが[オン]になっている限りすべてのADAS機能が作動します。機能をオフにする場合は車線逸脱/前方衝突の両方[オフ]にしてください。すべて[オフ]または[オン]にしかできません。

MDR-ACAM

MDR-ACAM
専用ビューアソフト

MDR-ACAMビューア—説明書

目 次

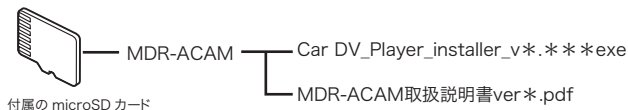
準備しましょう

ビューアーのインストール方法	3
----------------------	---

使ってみましょう

基本操作	5
ビューアー画面の見方	6

専用ビューアーソフトと取扱説明書は、付属のmicroSDカードに保存しています。



付属の microSD カードをフォーマットすると取扱説明書が消去されてしまいます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをお勧めします。

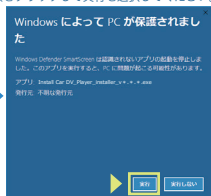
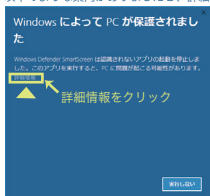
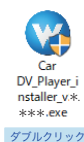
ビューアーのインストール方法

付属の microSD カードにビューアーが保存されています。

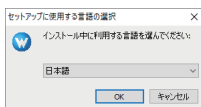
1 専用ビューアーが格納された付属の microSD カードをパソコンにセットする

2 microSD カードを開き、インストールプログラムをダブルクリックする
[MDR-ACAM] フォルダの中の「Car DV_Player_installer_v*.***.exe」

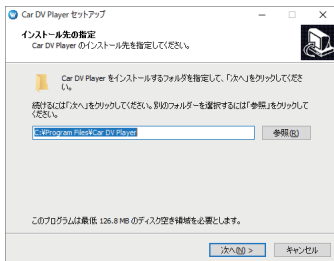
以下のような案内がありましたら、詳細情報をクリックして実行を選択してください。



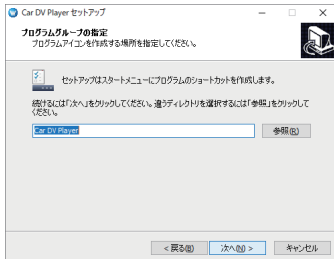
言語の選択で日本語を選択してOKをクリックしてください。



3 セットアップ画面が表示されたら、インストール先フォルダを確認して、[次へ]ボタンをクリック

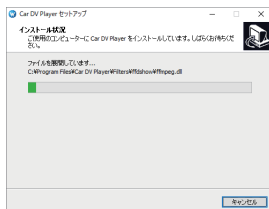
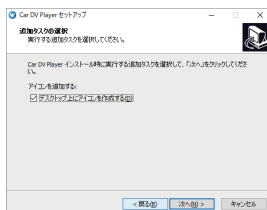
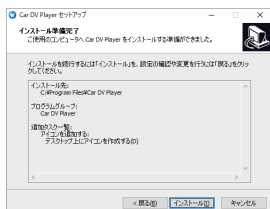


4 スタートメニューに表示されるフォルダ名を確認して、[次へ]ボタンをクリック

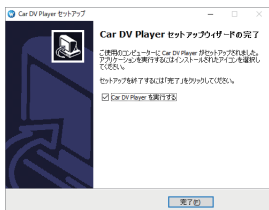


5 インストール内容を確認して [次へ]ボタンをクリック

インストール画面が表示され
[インストール]ボタンをクリックしてインストール開始



6 インストール完了後、 [完了]ボタンをクリック

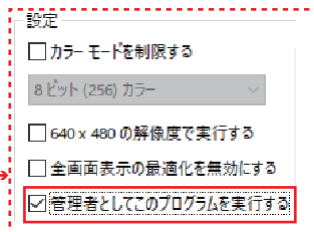
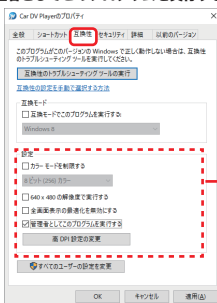


7 ショートカットがパソコンの デスクトップ上に作成される



右クリック

アイコンを右クリックし、プロパティを選択して
互換性タブの以下の設定にチェックを入れてください。
☑管理者としてこのプログラムを実行する



基本操作

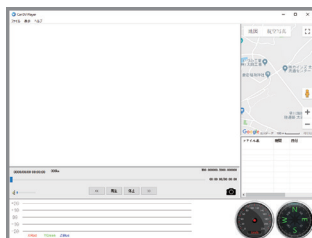
ビューアーの起動

- 1 インストールした専用のビューアーソフト [Car DV Player] のアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する

ダブルクリック



専用ビューアーのアイコン



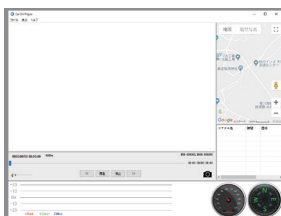
専用ビューアーが起動します。

ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルをビューアーに読み込みます。
あらかじめ録画ファイルが入ったmicroSDカードを用意しておきます。

- 1 録画ファイルの入ったmicroSDカードをパソコンにセットする

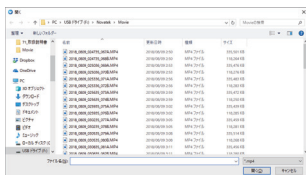
- 2 ビューアーを起動する



- 3 ビューアーの左上の[ファイル]/[開く]から再生したい動画を選択する



選択した動画が再生されます。
2カメラ撮影している場合、
同時刻の前後のカメラ映像が
再生されます。



ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



- ① 再生画面 : 録画映像を表示 (2カメラ時は2画面・ダブルクリックで拡大表示)
- ② シークバー : 現在の再生位置を表示、変更
- ③ 再生操作ボタン : 1つ前のファイル/一時停止/停止/1つ後のファイル
- ④ キャプチャー : 画面に表示されている映像を画像データとして保存
(保存場所は [Car DV Player] フォルダの中の [screenshot] フォルダ)
- ⑤ ボリューム : 音量調整
- ⑥ マップ : 撮影場所の位置情報を表示
- ⑦ ファイルリスト : 再生ファイル一覧
- ⑧ Gセンサー値 : 走行時の揺れや衝撃等を 3 軸グラフで表示
- ⑨ 速度 : 走行時の速度が表示
- ⑩ 方位 : 走行時の進行方位が表示

BIGPOWER

株式会社ビッグパワー

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13
URL bigpower.jp

お客様サポートセンター係



0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)